

平成 20 年定期総会議案書

日 時：平成 20 年 7 月 12 日（土）

午後 2 時～午後 3 時

場 所：神戸国際協力交流センター

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議事

第1号議案「平成19年度(第4期)事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成19年度(第4期)会計監査報告」

第3号議案「平成20年度(第5期)事業計画案および会計予算案」

議長解任

閉会のことば

第5章 総会 (種別) 第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。 (構成) 第22条 総会は、正会員をもって構成する。 (権能) 第23条 総会は、以下の事項について議決する。 (1)定款の変更 (2)解散 (3)合併 (4)事業計画及び収支予算並びにその変更 (5)事業報告及び収支決算 (6)役員を選任又は解任、職務及び報酬 (7)入会金及び会費の額 (8)借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ。) その他新たな義務の負担及び権利の放棄 (9)事務局の組織及び運営 (10)その他運営に関する重要事項 (開催) 第24条 通常総会は、毎年1回開催する。 2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1)理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。 (2)正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。 (3)第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。 (招集) 第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。 3 総会を招集するときは、会議の目時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。 (議長) 第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。 (定足数) 第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。 (議決) 第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (表決権等) 第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。 2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項及び第51条の適用については、総会に出席したものとみなす。 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。 (議事録) 第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。 (1)日時及び場所 (2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。) (3)審議事項 (4)議事の経過の概要及び議決の結果 (5)議事録署名人の選任に関する事項 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

会費(平成20年4月1日現在)

正会員 (1)入会金 5,000円

(2)年会費 5,000円

URL <http://toshisaigai.net/>

賛助会員(1)入会金 25,000円

(2)年会費 25,000円

【第1号議案】「平成19年度（第4期）事業経過報告および会計決算報告」

1.事業内容

平成19年度（2007年度）のNPO法人都市災害に備える技術者の会の活動は、WG活動の実施、研修会、公共団体・民間ボランティア団体とのネットワーク作り、を中心に行いました。

WG活動の実施

WG-Dは、当NPOが今後どのような活動をすべきかを考えるというテーマをもって活動しています。2006年度は京都市教育委員会への働きかけを行い、小学生等への防災教育への協力のありかたを考えました。そして、現在の過密な教育現場に防災教育を新たに組み込むことの難しさを痛感しました。2007年度は、奈良県西大和6自治会連絡会との協働作業により、数回にわたって地震時の防災について協議を重ねるとともに、2007年10月7日にはメンバーの一人である片瀬会員がコミュニティー震災講習会において「阪神・淡路大震災と市民生活」と題した講演活動を行いました。

また、教育活動への参加としては、太田会員が、2008年2月14日に大阪市立都島工業高校において「都市工学科生に必要とされる視点～自然災害から地域の人々を守る智慧～」と題して講演を行いました。

WG-Cは、阪神淡路大震災で顕在化した谷埋め盛土の地震時防災について考えるというテーマをもって活動しています。2006年4月1日に、谷埋め盛土宅地の耐震化を盛り込んだ宅地造成等規制法の改正が行われ、それに対して当NPOも少なからず協力をさせていただきました。現在は、(財)全国建設研修センターの宅地造成設計・施工研修講習会の講師として、太田会員が講習会講師を務めています。

研修会

2007年度は下記に示す4回の研修会が実施されました。

(第15回研修会)第1回「震災対策技術展」大阪 2007年5月24日開催：『私たちは都市災害に備えて活動しています - 能登半島地震～南海・東南海地震まで - 』

(第16回研修会)「防災カフェ」 2007年7月15日開催：当NPOの活動について会員の方々が忌憚のない意見を気軽に発言していただくという意図で「防災カフェ」が開催された。

(第17回研修会)「メキシコ地震と建築」カフェ 2007年10月6日開催：(社)日本材料学会関西支部、NPO法人都市災害に備える技術者の会の主催で、京都大学前にあるcafe進々堂において表題の防災カフェが開催されました。講師は、京都大学の佐藤裕一先生でした。この防災カフェには、当NPO会員、一般市民の方、学生さんらが約20名参加されました。中学生の少年の方も親子で参加されていました。佐藤先生は建築物に見立てたものの固有周期を計測する実験を会場で実際にやって見せられるなど、とても具体的でわか

りやすい防災カフェとなりました。

(第18回研修会)第1回災害対策セミナーin神戸 2008年1月15日開催:『都市災害に備える活動を続ける技術者達と市民~防災・減災のためのネットワークづくり~』と題して、室崎益輝先生に「減災と安全に貢献する技術者の倫理と技術者の運動」について基調講演いただき、その後シンポジウム(パネルディスカッション)を行った。

公共団体・民間ボランティア団体とのネットワーク作り

2007年4月18日に神戸国際会館において『防災・減災ネットワークづくり推進会議』準備会が開催されました。参加メンバーは以下の通りです。

伊丹 潔(内閣府政策統括官(防災担当)付企画官)

小南正雄(兵庫県県土整備部住宅建築局住宅計画課 副課長)

片瀬範雄((財)神戸市都市整備公社専務理事)

長手 務((前)神戸市理事(危機管理担当))

平井健二(神戸市理事(危機管理担当))

佐藤裕一(京都大学)

笹山幸俊(NPO法人都市災害に備える技術者の会 理事長)

山田俊満(同上 副理事長・事務局長)

太田英将(同上 理事・企画委員会副委員長)

伊藤東洋雄(同上 (社)日本技術士会近畿支部建設部会副幹事長)

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
災害予防・災害発生後の対策提案	防災・減災ネットワークづくり推進会議準備会	平成19年4月18日	神戸国際協力交流センター会議室	6人	他団体の防災担当者10人	-
災害予防・災害発生後の対策提案	第5回WG-D(防災啓蒙活動)会議及び、第1回奈良県西大和6自治会連絡会との合同会議	平成19年5月26日	上牧町片岡台3丁目コミュニティセンター	4人	西大和6自治会連絡会10名	-
各種イベントへの参加	WG-C(谷埋め盛土防災)から講師派遣:宅地造成設計・施工研修会への講師派遣;「盛土の耐震設計-設計・工事-」	平成19年6月12日	(財)全国建設研修センター	1人	受講者32人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第15回研修会 第1回「震災対策技術展」大阪; 「私達は都市災害に備えて活動しています」	平成19年5月24日	インテックス大阪	10人	会員および一般100名	-
災害予防・災害発生後の対策提案	第6回WG-D(防災啓蒙活動)会議	平成19年7月15日	神戸国際協力交流センター会議室	9人	会員9名	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第16回研修会 「防災カフェ」;当NPO活動についての意見交換	平成19年7月15日	神戸国際協力交流センター会議室	20人	会員20名	-
災害予防・災害発生後の対策提案	第7回WG-D(防災啓蒙活動)会議及び第2回西大和6自治会連絡会との合同会議;「震災講習会」の打ち合わせ等	平成19年8月18日	上牧町桜ヶ丘2丁目公民館	8人	西大和6自治会連絡会10名	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第17回研修会(WG-A 防災教育) 「メキシコ地震と建築」カフェ;講演者:佐藤裕一先生(京都大学)	平成19年10月6日	京都大学前 café 進々堂	6名	会員および一般約20名	-
各種イベントへの参加	西大和6自治会連絡会平成19年度防災講演会参加、講師派遣、及び第8回WG-D(防災啓蒙活動)会議	平成19年10月7日	上牧町桜ヶ丘2丁目公民館	7人	西大和6自治会連絡会の市民約100名	-
災害予防・災害発生後の対策提案	WG-C(谷埋め盛土防災)から国土交通省委員会に委員派遣:「宅地耐震化の技術基準等の運用に関する検討会」(延3回)	H19.11.19 H19.12.17 H20.1.21	国土交通省都市・地域整備局会議室	1人	-	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第18回研修会 第1回災害対策セミナーin神戸 “都市災害に備える活動を続ける技術者たちと市民”	平成20年1月15日	神戸国際会議場	10人	会員および一般60名	-
各種イベントへの参加	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣:大阪市立都島工業高校で講演	平成20年2月14日	大阪市立都島工業高校	1人	高校生約70名	-

(2) その他の事業

本年度は収益事業は行いませんでした。

平成 19 年度（第 4 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計決算報告書（設立日平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(1) 特定非営利活動にかかる決算報告書

(単位 円)

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	会費・入会金収入	500,000	345,000	-155,000	正会員44、賛助3
	各種イベントの参加費収入	20,000	5,700	-14,300	
	当日参加費	10,000	4,500	-5,500	
	DVD参加費	10,000	1,200	-8,800	
	協賛金（研修会）	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	受託業務	0	0	0	
	WEB協賛金	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,262,125	2,262,125	0	
	雑収入	400	1,149	749	利息
	収入合計	2,782,525	2,613,974	-168,551	

区分	項目	予算	決算	差額	備考
	事業費	575,000	303,380	-271,620	
	地域安全活動	30,000	0	-30,000	
	災害救援活動	30,000	0	-30,000	
	災害に備えたまちづくりの活動	30,000	0	-30,000	
	都市防災教育の推進を図る活動	170,000	44,780	-125,220	研修会等
	会場借用料	50,000	0	-50,000	
	印刷費等	10,000	0	-10,000	
	講師謝礼旅費	60,000	0	-60,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	20,000	44,780	24,780	
	その他	30,000	0	-30,000	DVD作成費用
	受託業務活動	300,000	243,900	-56,100	
	前号の活動にかかる費用	15,000	14,700	-300	
	ウェブサイト費用	15,000	14,700	-300	
	管理費	210,000	12,498	-197,502	
	会議費	10,000	0	-10,000	
	旅費交通費	100,000	0	-100,000	
	備品等整備費	30,000	0	-30,000	
	消耗品費	10,000	0	-10,000	
	印刷製本費	0	0	0	
	交際費	0	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	60,000	12,498	-47,502	
	予備費	0	0	0	
	支出合計	785,000	315,878	-469,122	
収益事業からの繰り入れ	0	0	0		
当期収支差額（次年度繰越金）	1,997,525	2,298,096	300,571		

(2)収益事業にかかる決算報告書

(単位 円)

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	収入合計	0	0	0	

区分	項目	予算	決算	差額	備考
支 出	事業費	0	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	管理費	0	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	0	
	備品等整備費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	租税公課	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
当期収支差額		0	0	0	
特定非営利活動へ繰入額		0	0	0	

【第2号議案】「平成19年度(第4期)会計監査報告」

平成19年度(第4期) NPO法人都市災害に備える技術者の会 会計監査報告書

私たち会計監査は、平成19年度(第4期)NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計
処理は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 監査実施日時 | 平成20年 6月10日 |
| 2. 監査帳簿類 | 金銭出納帳
領収書類
預金通帳
決算報告書 |

平成20年 6月11日

監事 鹿田 靖彦 

監事 清水 煌三 

【第3号議案】「平成20年度（第5期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

本年度は、昨年度に引き続き、会員を対象とした事業および社会に向けての活動を行ってまいります。また、ご依頼があれば受託業務も実施して参ります。できれば、内閣府・国交省・近畿圏各府県・市や町・市民団体・学生ボランティアなどとのネットワークづくりを行います。昨年度発足させた「防災・減災ネットワーク推進会議」の活動を進めてまいります。

(1)特定非営利活動に係る事業

[会員向け活動]

1.研修会

平成19年度に引き続き、概ね3ヶ月に1回割合で研修会を開催します。参加は会員のみならず、一般市民へも呼びかけます。

2.ニューズレターの発行

ニューズレターも2~3ヶ月に1回程度の割合で発行していますが、広く投稿を呼びかけ内容、発行頻度ともに改善してきます。

3.ワーキンググループの活動

個別WG活動を活発化させ、形のある成果を出せるように予算も確保します。

[社会に向けた活動]

1.ネットワークづくり

前年度に引き続き、行政担当者のみならず、地域の防災リーダーや防災・減災NPO法人などとネットワークを構築していきます。

2.他団体のイベントへの参加、講師派遣

他団体の催しにも積極的に参加します。また講師派遣などにも積極的に応じます。すでに6月5日には、(財)全国建設研修センター「宅地造成設計・施工研修 - 盛土の耐震設計 - 」への講師派遣を行いました。

3.WEBでの広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメーリングリストで情報発信いたします。

(2)収益事業

防災に携わる技術者が、都市の防災・減災にお手伝いできる業務が発注された際には、誠意を持って取り組み、与えられた条件のもとで最大限の成果を挙げられるよう努力いたします。なお、法人市民税に関しては、本年度も昨年度に引き続き、収益事業が開始されていないとの理由で減免申請をしております。

平成 20 年度（第 5 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計予算案（設立日平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（ 1 ） 特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位 円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	会費・入会金収入	345,000	350,000	
	各種イベントの参加費収入	5,700	20,000	資料代として
	当日参加費	4,500	10,000	
	DVD参加費	1,200	10,000	
	協賛金（研修会）	0	0	
	その他	0	0	
	受託業務	0	0	
		0	0	
	小計	(350,700)	(370,000)	単年度収入小計
	前年度からの繰越金	2,262,125	2,298,096	
	雑収入	1,149	1,150	利息
収入合計	2,613,974	2,669,246		

区分	項目	前年度実績	予算	備考
	事業費	303,380	275,000	
	地域安全活動	0	30,000	
	災害救援活動	0	30,000	
	災害に備えたまちづくりの活動	0	30,000	WG 活動費
	都市防災教育の推進を図る活動	44,780	170,000	研修会等
	会場借用料	0	50,000	
	印刷費等	0	40,000	
	講師謝礼旅費	0	60,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	44,780	20,000	
	その他	0	0	
	受託業務活動	243,900	0	
	前号の活動にかかる費用	14,700	15,000	技術サポート終了
	ウェブサイト費用	14,700	15,000	プロバイダ料金等
	管理費	12,498	210,000	
	会議費	0	10,000	
	旅費交通費		100,000	
	備品等整備費	0	30,000	封筒代等
	消耗品費	0	10,000	
	印刷製本費	0	0	
	交際費	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	12,498	60,000	
予備費	0	0		
支出合計	315,878	485,000		
単年度収支	34,822	-115,000	単年度収入-支出	
収益事業からの繰り入れ	0	0		
当期収支差額（次年度繰越金）	2,298,096	2,184,246		

(2) 収益事業に係る会計予算(案)

(単位 円)

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	収入合計	0	0	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支 出	事業費	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	管理費	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	
	備品等整備費	0	0	
	消耗品費	0	0	
	租税公課	0	0	
	支出合計	0	0	
	当期収支差額	0	0	
特定非営利活動へ繰入額	0	0		

都市災害に備える技術者の会 活動経過

- '95 (平成 7 年) 1.17 阪神・淡路大震災発生
- '95.1.18 (社)日本技術士会近畿支部(山田理事)は本部建設部会1月例会で現地報告
- '00.1 第4回震災対策技術展への参加「都市防災を考える」
- '01.1 第5回震災対策技術展への参加「技術士の災害対応」
- '02.2 第6回震災対策技術展への参加「都市災害に備える技術者たち」
- '03.1 第7回震災対策技術展への参加「しのびよる都市災害に備えて」
- '03.2~ NPO法人設立のための準備を本格的に開始
- '03.12.1 代表世話人会、発起人会と設立総会
- '04.1.29 第8回震災対策技術展への参加「都市防災のために技術者や専門家たちは結集した」
- '04.4.1 本会に対して内閣府より認証の通知書が交付
- '04.4.14 NPO法人の登記申請を神戸地方法務局西宮出張所に提出(法人設立日となる)
- '04.4.23 笹山理事長他2名、内閣府・国交省を訪問し経過説明。ネットワーク化推進に協力要請
- '04.5.15 NPO法人 設立記念シンポジウム開催「しのびよる都市災害に備えて」
- '04.8.21 第2回研修会 神戸大学沖村先生「大地震と地盤災害」
- '04.9.15 第31回全国技術士大会 分科会(都市防災)に河田先生、山田が講師として参加
- '04.10.23 第3回研修会 大阪大学新田先生「交通から見た都市災害」
- '05.1.6 近畿各府県間の防災・減災ネットワークづくりの為に各府県担当部課訪問を開始
- '05.1.20 第4回研修会として参加。第9回震災対策技術展、国連防災世界会議へ参加
- '05.2.21 笹山理事長他3名、内閣府・国交省を訪問し経過説明および要望
- '05.3.5 第5回研修会 朝日新聞社山中茂樹氏「減災社会に向けての市民と技術者協働への期待」
- '05.5.28 第6回研修会 京都大学高田光雄先生「都市災害に備えるすまいづくり・まちづくり」
- '05.7.20 業務名「大地震時における宅地盛土の被害に関する調査業務」を国土交通省より受託。
- '05.8.6 第7回研修会 名古屋大学安藤孝雄先生「南海・東南海地震に備えて」
- '05.8.21 近畿各府県間の防災・減災ネットワークづくり(第1回ミーティング)
- '05.10.11 近畿各府県間の防災・減災ネットワークづくり(第2回ミーティング)
- '05.11.12 第8回研修会 向井通彦泉南市長「NPO法人活動と技術者としての行政の立場」
- '06(平成 18年).1.17 第9回研修会として参加。第10回震災対策技術展
「私たちは都市災害に備えて活動を始めました」
- '06.1.26 防災講演会「~首都直下地震への備え~」(主催:関東地方整備局)
- '06.2.5 近畿各府県間の防災・減災ネットワークづくり(第3回ミーティング)
- '06.3.5 「安全・安心の街づくりをめざして」防災シンポジウム
- '06.3.24 第10回研修会 E-ディフェンス実験見学会 地盤基礎実験(擁壁の側方流動)
- '06.7.8 総会を開催。第11回研修会 近畿地方整備局企画部防災課長 吉村元吾氏
- '06.10.21 第12回研修会 西村技術士事務所・西村労働安全コンサルタント事務所所長西村正人氏
- '06.10~'07.4 受託業務「防災に関する調査研究」(財)住宅管理協会
- '06.10.30 第13回研修会 Eディフェンス実験見学会
- '07.1.18. 第14回研修会 第1回「震災対策セミナーin神戸」に参加、シンポジウム主催
- '07.4.18. 「防災・減災ネットワークづくり推進会議」準備会を開催
- '07.5.24 第15回研修会 第1回「震災対策技術展」大阪に参加、シンポジウム主催
- '07.7.15 第16回研修会 ワーキンググループの活動報、「防災カフェ」
- '07.10.7 自主防災組織「西大和6自治会連絡会」の震災講習会へ参加
- '07.10.6 第17回研修会 「メキシコ地震と建築」カフェ 京大 佐藤裕一先生
- '08.1.15 第18回研修会(第1回災害対策セミナーin神戸)
「都市災害に備える活動を続ける技術者たちと市民」
- '08.6.19 第19回研修会(第2回震災対策技術展大阪)
「市民・学生たちと考える防災・減災のネットワークづくり」

以上

役員・企画委員会・事務局名簿(役職) ('08.7)

氏名	所属	理事	監事	企画委員会	事務局
笹山幸俊	(財)神戸国際協力交流センター・顧問	■			
梅田昌郎	(株)建設技術研究所・相談役、元(社)日本技術士会・会長	◎		○	
太田英将	(有)太田ジオリサーチ・代表取締役	○		◎	◎
尾見 博武	UR 都市機構・理事	□			
柏原士郎	武庫川女子大学生生活環境学部生活環境学科・教授 大阪大学名誉教授	◎		○	
河田恵昭	京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授	◎		●	
鹿田晴彦	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○※		○
渋谷和久	国土交通省大臣官房広報課長			○	
清水煌三	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○		○
高田光雄	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻・教授	○		○	
溜水義久	(株)八州・代表取締役	◎		◎	
新田保次	大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻・教授	○		◎	
三輪泰司	(株)地域計画建築研究所・取締役会長	○		○	
向井通彦	泉南市・市長			○	
室崎益輝	関西学院大学総合政策学部・享受	●		◎	
森田孝雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副部会長	○		○	
山田俊満	(社)日本技術士会・評議員、近畿支部建設部会・部会長	◎		◎	●
石川浩次	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事			○	
長手 務	(財)神戸市防災安全公社・理事長			○	
片瀬範雄	神戸市都市整備公社・専務理事、神戸市土地開発公社・専務理事、(株)パスコ神戸支店技師長			○	◎
伊藤東洋雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副幹事長				◎
清水煌三	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事				◎
北村友博	(社)日本技術士会・理事				○
末利鏡意	(社)日本技術士会近畿支部				○

(敬称略・順不同)

(役員会: ●理事長、◎副理事長、○理事、■名誉理事長、□顧問)

(企画委員会: ●委員長、◎副委員長、○委員)

(事務局: ●局長、◎次長、○局員)

平成 20 年度の人事案

		旧	新
役員等	理事長	笹山幸俊	室崎益輝
	名誉理事長		笹山幸俊
	顧問		尾見博武
事務局	事務局次長	太田英将 建設技術研究所（西出）	伊藤東洋雄（統括） 清水煌三（広報） 北村友博（会計） 未利鍊意（会計） 太田英将（会計）
事務所	兵庫・大阪の事務所は現状と同じです		